

他機関が実施する調査データ分析結果報告

(第 23 回長浜企業景況調査参考資料)

報告年月 令和 4 年 5 月

長浜商工会議所

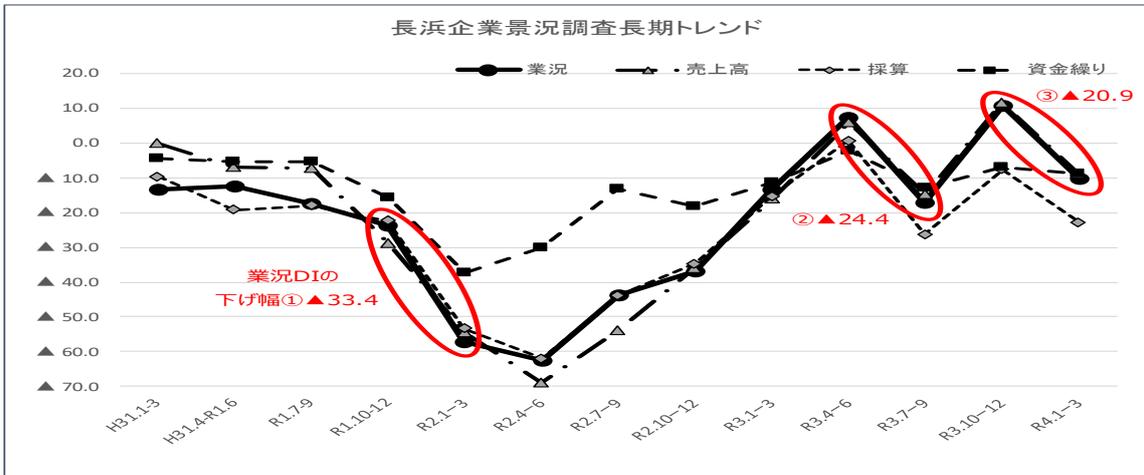
目 次

1. 長浜市の景況	
(1) 長浜企業景況調査…各種DIの長期トレンド	1
(2) 長浜企業景況調査…業種別販売価格DIと仕入価格DI	1
2. 滋賀県の景況	
(1) 滋賀県景況調査報告(滋賀県商工政策課編)	2
(2) 県内経済概況((株)しがぎん経済文化センター編)	7
(3) 中小企業アンケート結果(滋賀県信用保証協会編)	9
3. 近畿の景況	
(1) 地域経済動向(近畿)(内閣府編)	10
(2) 中小企業景況調査(近畿)(中小企業基盤整備機構編)	10
4. 全国の景況	
(1) 日銀短観(日本銀行)	11
(2) 中小企業景況調査(全国)(中小企業基盤整備機構編)	13

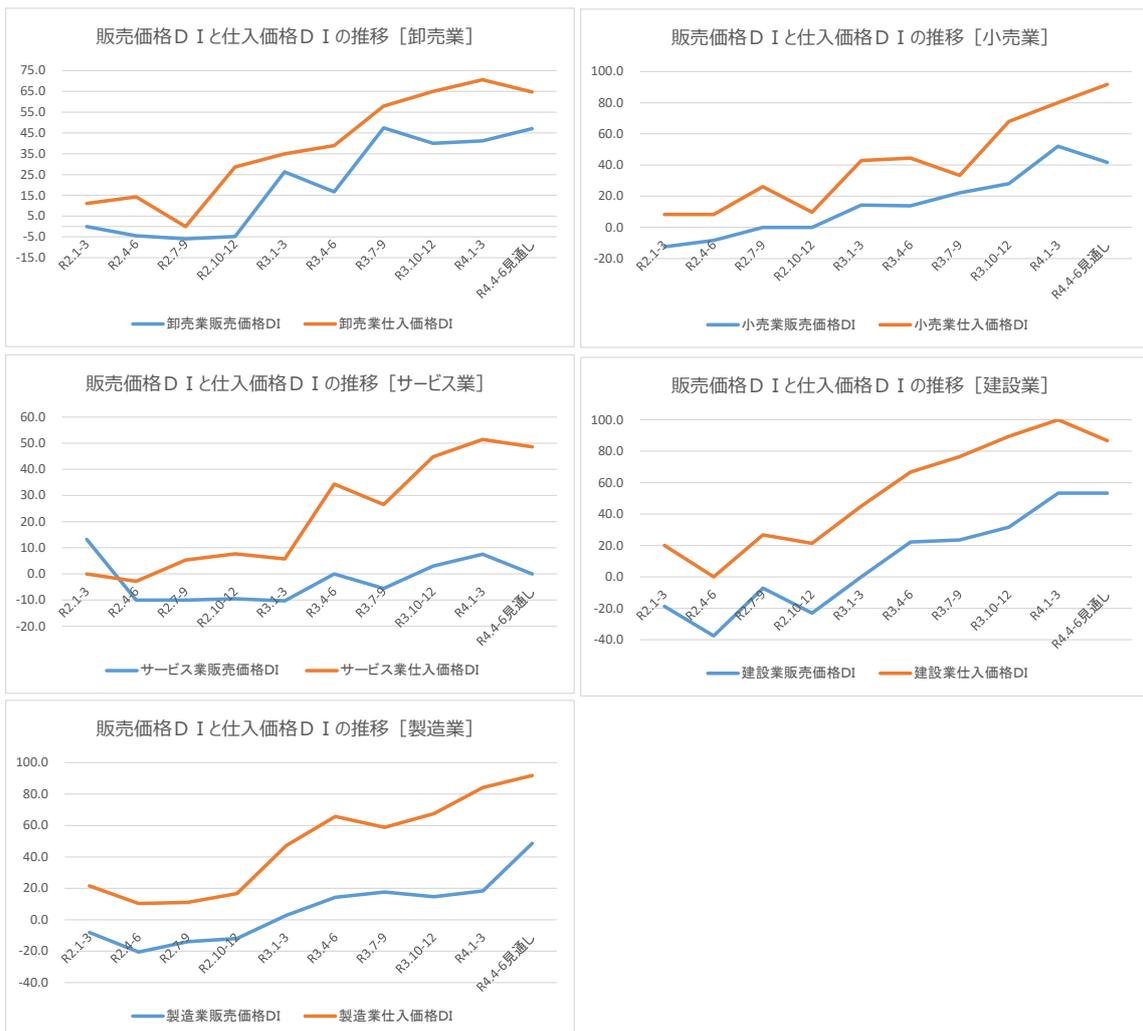
※本資料は上記資料をもとに作成したが、一部加筆変更部分が含まれる。

1. 長浜市の景況

(1) 長浜企業景況調査…各種D Iの長期トレンド [前年同期比較]



(2) 長浜企業景況調査…業種別販売価格D Iと仕入価格D I [前年同期比較]

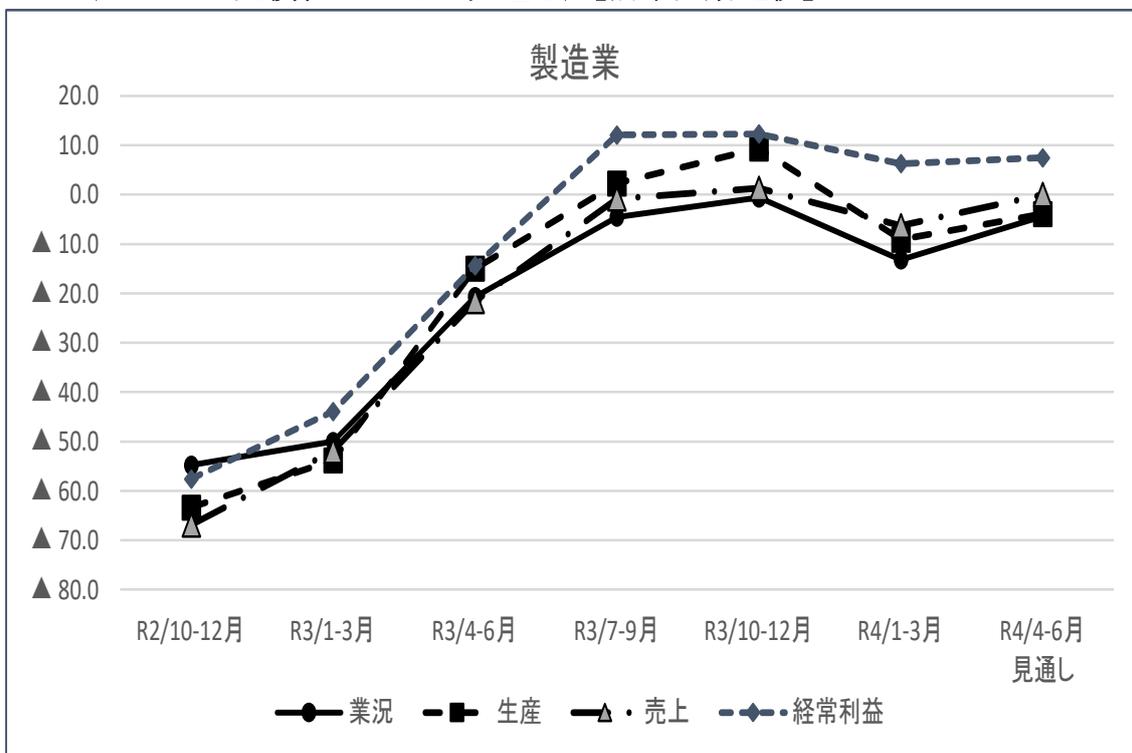


2. 滋賀県の景況

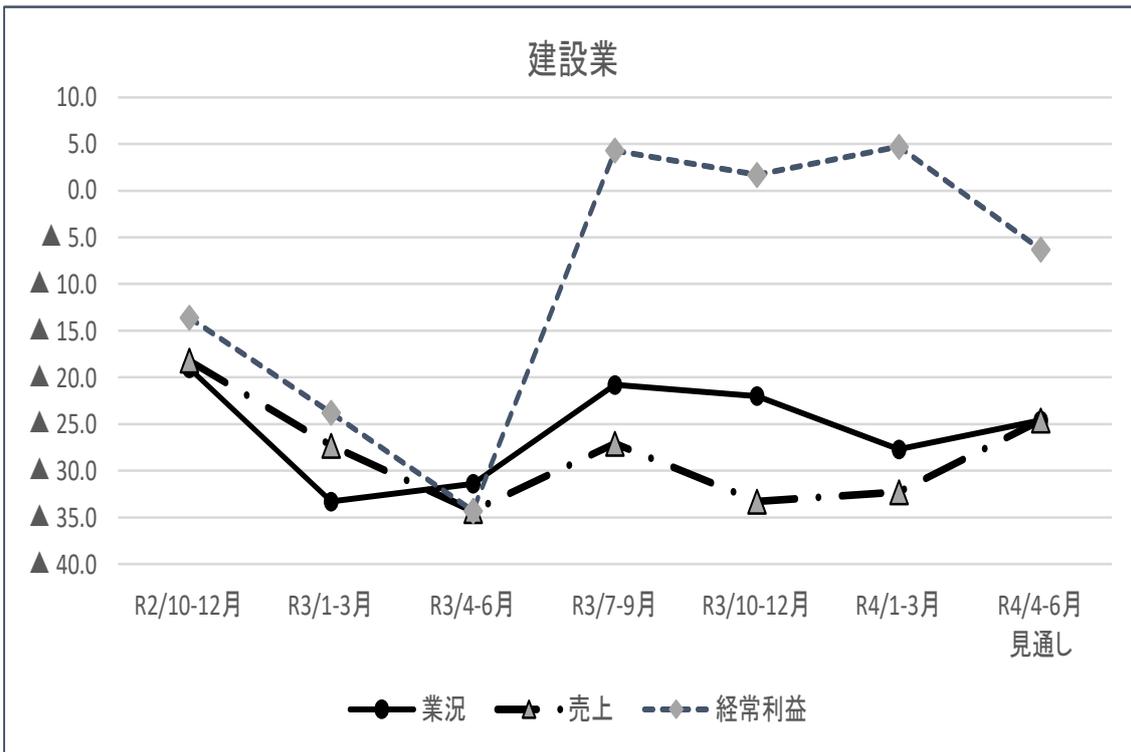
(1) 滋賀県景況調査報告（滋賀県商工政策課編）

① 滋賀県の業種別景況動向

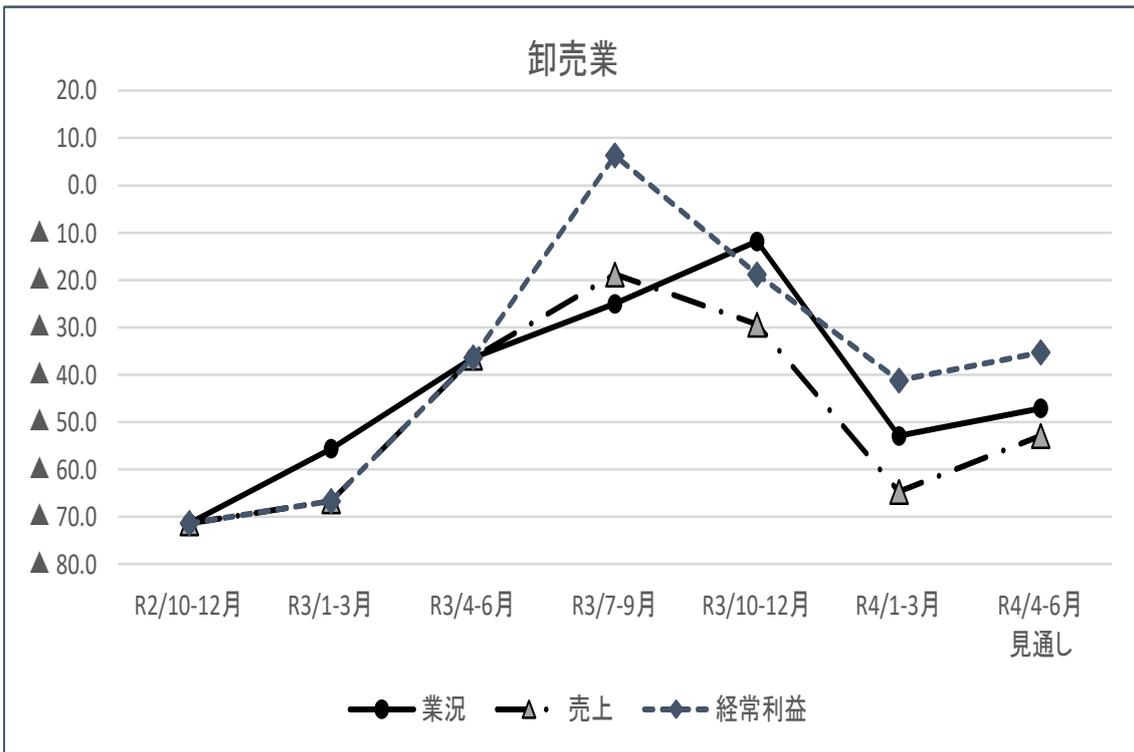
（R4/1-3月実績、R4/4-6月見通し）〔前年同期比較〕



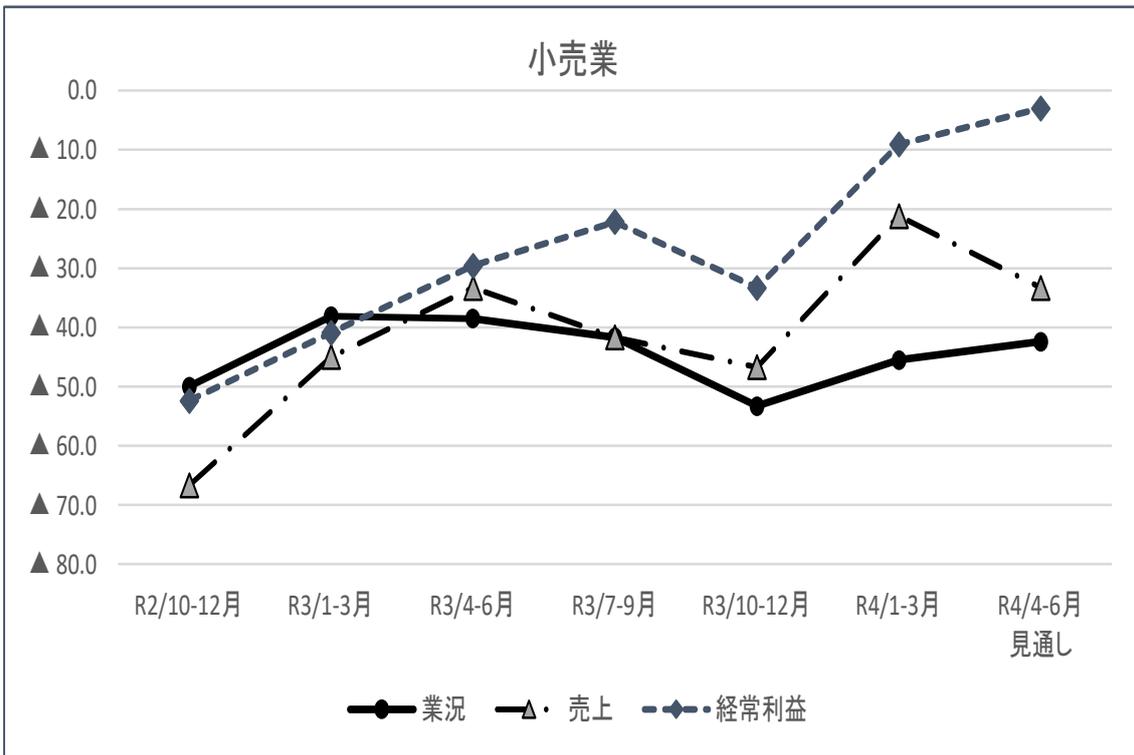
製造業	R2/10-12月	R3/1-3月	R3/4-6月	R3/7-9月	R3/10-12月	R4/1-3月	R4/4-6月見通し
業況	▲ 54.8	▲ 50.0	▲ 20.7	▲ 4.5	▲ 0.6	▲ 13.2	▲ 4.4
生産	▲ 63.4	▲ 53.8	▲ 15.0	2.3	9.4	▲ 9.1	▲ 3.9
売上	▲ 66.9	▲ 51.9	▲ 21.6	▲ 0.8	1.3	▲ 6.3	0.0
経常利益	▲ 57.6	▲ 43.9	▲ 14.4	12.1	12.3	6.3	7.5
傾向	●	●	●	●	●	×	●
回答社数	126	108	140	132	155	159	159



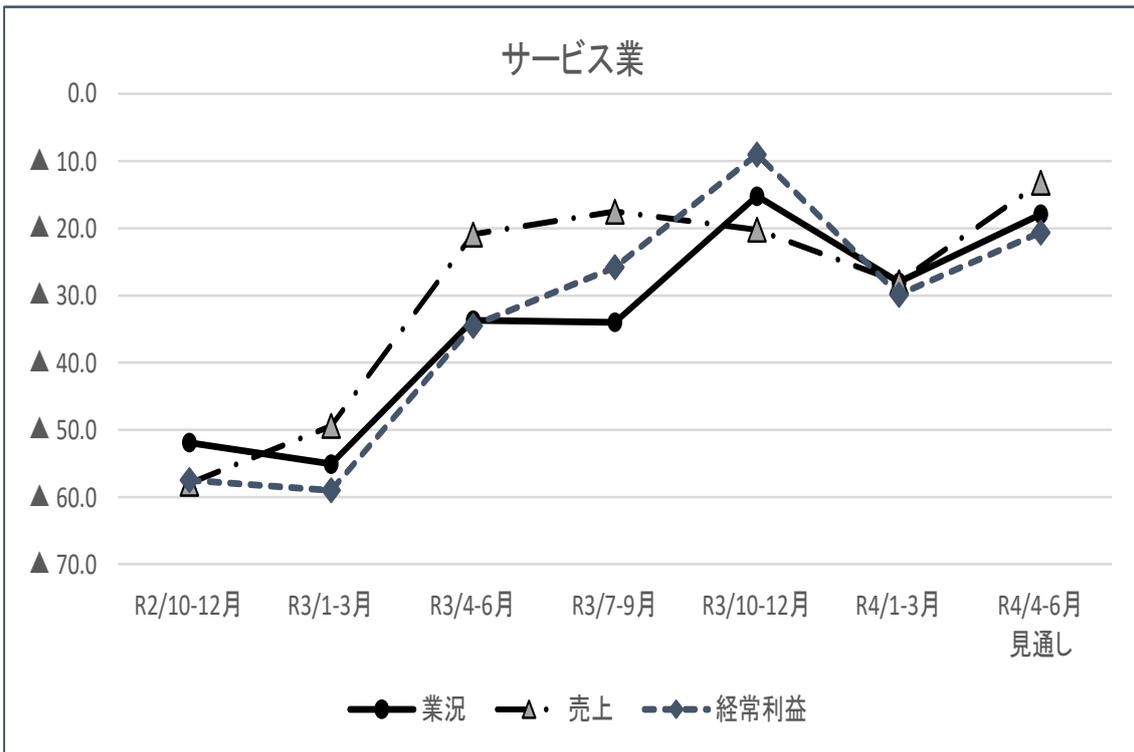
建設業	R2/10-12月	R3/1-3月	R3/4-6月	R3/7-9月	R3/10-12月	R4/1-3月	R4/4-6月見通し
業況	▲ 19.0	▲ 33.3	▲ 31.4	▲ 20.8	▲ 22.0	▲ 27.7	▲ 24.6
売上	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 34.3	▲ 27.1	▲ 33.3	▲ 32.3	▲ 24.6
経常利益	▲ 13.6	▲ 23.8	▲ 34.3	4.3	1.7	4.7	▲ 6.3
傾向	●	×	●	●	×	×	●
回答社数	22	22	35	48	61	65	65



卸売業	R2/10-12月	R3/1-3月	R3/4-6月	R3/7-9月	R3/10-12月	R4/1-3月	R4/4-6月見通し
業況	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 36.4	▲ 25.0	▲ 11.8	▲ 52.9	▲ 47.1
売上	▲ 71.4	▲ 66.7	▲ 36.4	▲ 18.8	▲ 29.4	▲ 64.7	▲ 52.9
経常利益	▲ 71.4	▲ 66.7	▲ 36.4	6.3	▲ 18.8	▲ 41.2	▲ 35.3
傾向	●	●	●	●	●	×	●
回答社数	7	9	11	16	18	17	17



小売業	R2/10-12月	R3/1-3月	R3/4-6月	R3/7-9月	R3/10-12月	R4/1-3月	R4/4-6月見通し
業況	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 38.5	▲ 41.7	▲ 53.3	▲ 45.5	▲ 42.4
売上	▲ 66.7	▲ 45.0	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 46.7	▲ 21.2	▲ 33.3
経常利益	▲ 52.4	▲ 40.9	▲ 29.6	▲ 22.2	▲ 33.3	▲ 9.1	▲ 3.0
傾向	●	●	×	×	×	●	●
回答社数	21	22	27	36	30	33	33



サービス業	R2/10-12月	R3/1-3月	R3/4-6月	R3/7-9月	R3/10-12月	R4/1-3月	R4/4-6月 見通し
業況	▲ 51.9	▲ 55.1	▲ 33.7	▲ 34.0	▲ 15.2	▲ 28.0	▲ 17.9
売上	▲ 58.0	▲ 49.4	▲ 20.9	▲ 17.5	▲ 20.2	▲ 28.0	▲ 13.2
経常利益	▲ 57.5	▲ 59.0	▲ 34.5	▲ 25.8	▲ 9.0	▲ 29.9	▲ 20.6
傾向	●	×	●	×	●	×	●
回答社数	83	83	88	97	101	107	107

② 滋賀県の景況調査 [企業から寄せられたコメント]

<p>滋賀県内企業のコメント (R4/1-3月期)</p> <p>業況判断【好転】企業コメント 半導体不足の影響でやや減産であるが春以降持ち直し予想。 関連会社よりの受注が見込め、好調に推移する。 半導体不足および輸送関連混乱の影響は軽微。 昨年後半からコロナ禍が落ち着き、このまま経済が回復に向かえば好転が継続する見通し。 昨年は、コロナの影響で売上減少したが、新工場稼働により、その工場に対する生産依頼が増加。 材料費高騰影響は軽微（売価への転嫁を進行中のため）。</p> <p>業況判断【悪化】企業コメント 受注は入っているが、材料不足、人手不足により生産量自体は減少。 新型コロナウイルスの影響による世界的な部品不足の影響で今後の見通しが立たない。 仕入れ原材料の値上がりが続いているが、それを商品の値上げに転嫁出来ない。 外出やイベントの減少により着物、アパレル共に需要が減少し生産、新規の企画共に悪化の見通し。 原油高、為替円安、コロナ禍のトリプルパンチにより、仕入れ金額が膨れ、売上数量も減少している。 定年延長に伴い60～65歳の人材が業界に来なく、高齢化がより進み人材の確保が困難になる。 大雪の影響とコロナ感染者の増加で売り上げが見込めない。 オミクロン株の急拡大で飲食店を始めとする外食需要が急激に落ち込み、売上減少の大きな要因となる見通し。 半導体不足の影響で設備品（最終組み立て品）の受注が停滞している。 売上・生産はほぼ同じであるが、材料費の高騰により収支は悪化。 コロナの影響で資金が回らない。原材料も6%位高騰している。</p>

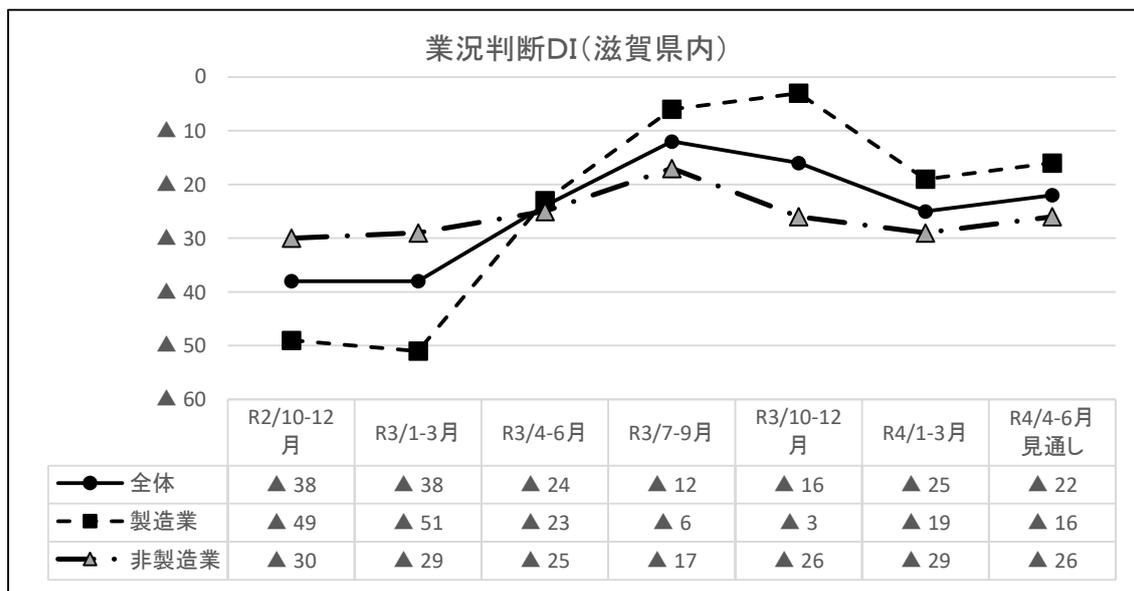
(2) 県内経済概況(株しがぎん経済文化センター編)

① 県内経済概況「概況」(令和4年2月ー令和4年4月)

R4/2	<p>弱い動きが全体に広がり、停滞感が増している</p> <p>製造業の生産活動は、一部の業種で回復に向けた動きがみられるものの、全体に伸び悩んでいる。需要面では、ほとんどの品目が対前月で減少となり、特に巣ごもり需要の一巡で弱い動きとなっている家電販売や、サプライチェーンの問題で部品供給への影響が続く自動車販売など、耐久消費財の低迷が続いている。また、投資需要では、民間設備投資が大幅な増加となったものの、住宅投資と公共投資はともに減少となった。したがって県内景気の現状は、一部で前向きな動きがみられるものの、弱い動きが全体に広がり、停滞感が増している。</p>
R4/3	<p>引き続き足踏み状態にある</p> <p>製造業の生産活動は、自動車関連産業などで弱い動きが続いているものの、一部の業種で回復に向けた動きがみられる。需要面では、ほとんどの品目が対前年で減少となり、特に巣ごもり需要の一巡で弱い動きとなっている家電販売や、サプライチェーンの問題で部品供給への影響が続く自動車販売など、耐久消費財の低迷が続いている。また、投資需要では、民間設備投資と公共投資はともに大幅な増加となったものの、住宅投資は大幅な減少となっている。したがって県内景気の現状は、特に個人消費と住宅投資で弱い動きがみられ、引き続き足踏み状態にある。</p>
R4/4	<p>一部で弱い動きが続いているものの、全体に緩やかに持ち直している</p> <p>製造業の生産活動は、一部の業種で弱い動きがみられるものの、全体に回復に向けた動きが続いている。需要面では、物価の上昇がみられる中でも日用品は堅調に推移しているが、巣ごもり需要の一巡で不振が続く家電販売や、部品供給の影響がみられる自動車販売などの耐久消費財で低迷が続いている。一方、投資需要では、民間設備投資をはじめ、住宅投資、公共投資はいずれも大幅な増加となった。したがって県内景気の現状は、個人消費の一部で弱い動きが続いているものの、全体に緩やかに持ち直しているとみられる。</p>

※内容は前月データに基づくコメント。

② 県内企業動向調査(R4/1-3月実績、R4/4-6月見通し) [前期比較]



感染急拡大と企業物価の高騰で、景況感は2四半期連続の悪化

	回答社数	R3/10-12月	R4/1-3月	傾向	R4/4-6月見通し
製造業	130	▲ 3	▲ 19	×	▲ 16
繊維	12	▲ 35	▲ 58	×	▲ 25
木材・木製品	6	67	▲ 33	×	▲ 50
紙・パルプ	-	-	-	-	-
化学	9	18	11	×	13
石油・石炭	-	-	-	-	-
窯業・土石	-	-	-	-	-
鉄鋼	-	-	-	-	-
非鉄金属	-	-	-	-	-
食料品	9	▲ 33	▲ 78	×	▲ 78
金属製品	19	▲ 5	▲ 32	×	▲ 32
一般機械	13	33	15	×	8
電気機械	9	▲ 11	▲ 45	×	▲ 22
輸送用機械	-	-	-	-	-
精密機械	-	-	-	-	-
その他	31	▲ 16	▲ 10	●	▲ 10
非製造業	171	▲ 26	▲ 29	×	▲ 26
建設	49	▲ 15	▲ 35	×	▲ 47
不動産	10	23	30	●	30
卸売	28	▲ 46	▲ 36	●	▲ 27
小売	29	▲ 64	▲ 52	●	▲ 39
運輸・通信	12	10	▲ 17	×	0
電気・ガス	-	-	-	-	-
サービス	26	▲ 32	▲ 12	●	4
リース	-	-	-	-	-
その他	11	▲ 9	▲ 36	×	▲ 36

③ 県内経済概況「県内景気天気図」

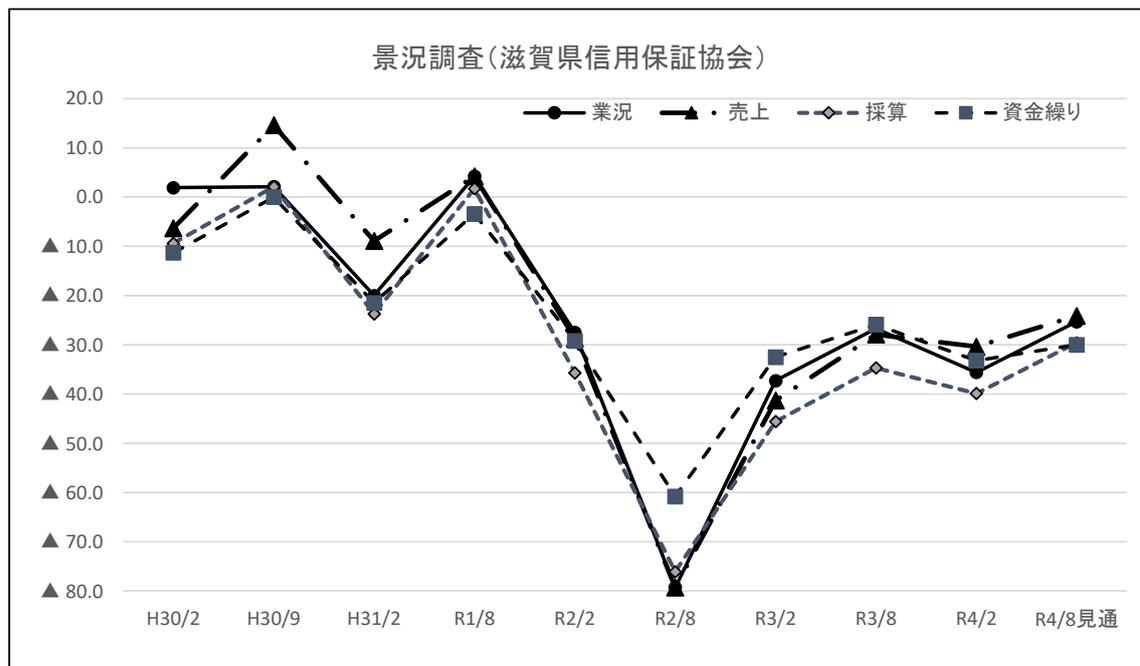
県内景気天気図	R3/10	R3/11	R3/12	R4/1	R4/2	R4/3
現在の景気	▲	●	×	▲	▲	●
3か月後の景気	▲	▲	▲	×	▲	▲
生産活動	×	●	×	▲	●	●
個人消費	▲	●	×	×	×	●
民間設備投資	●	▲	×	●	●	●
住宅投資	●	×	●	×	×	●
公共投資	●	●	●	×	●	●
雇用情勢	▲	×	▲	×	●	●

* 前期比 ▲は横ばい、●は好転、×は悪化を示す。

(3) 中小企業アンケート結果(滋賀県信用保証協会編)

○景況調査結果 (R4/2)

実施内容	調査時期：令和4年2月		調査方法：無記名アンケート方式			
		配布数：500	回答数：253	回答率：50.6%		
業種構成	建設業	24.1%	製造業	19.4%	サービス業	16.6%
	小売業	14.2%	不動産業	9.5%	運輸通信業	5.1%
	卸売業	4.0%	その他	5.5%		
従業員規模	5人以下：53.0%	6～20人：28.5%	21人以上：18.2%			



3. 近畿の景況

(1) 地域経済動向（近畿）（内閣府編）

令和4年3月

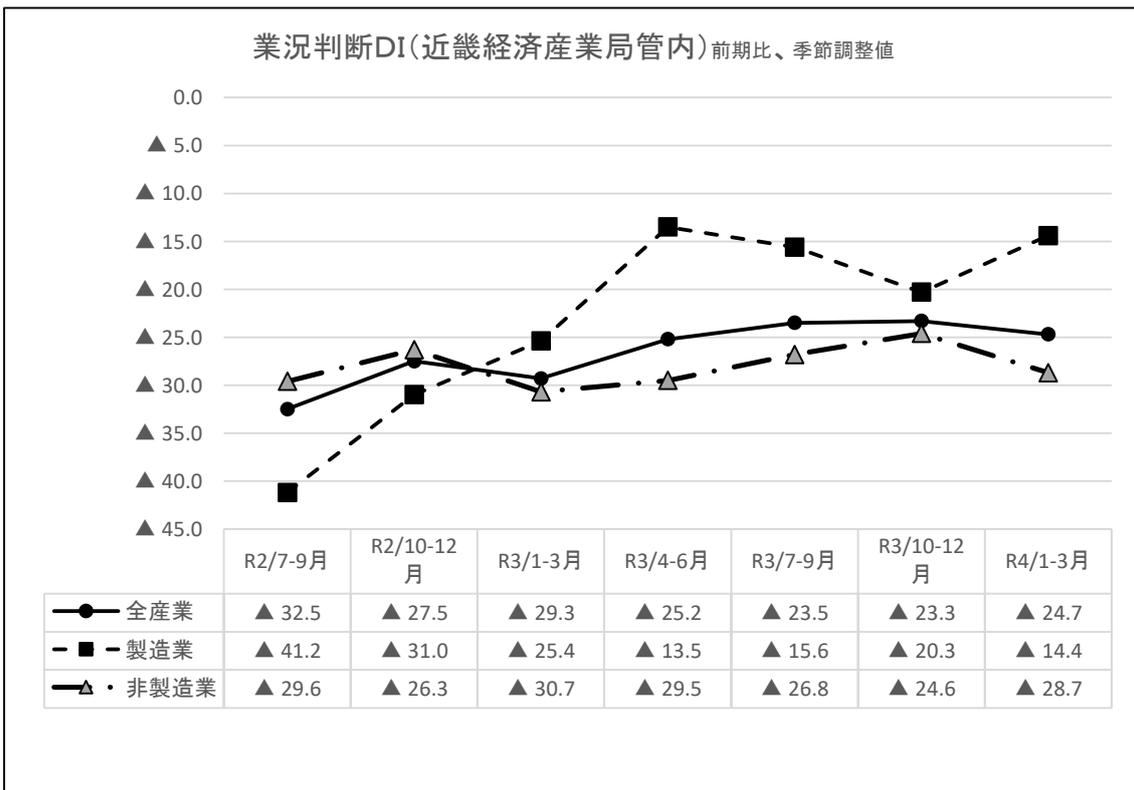
近畿地域では、景気は新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、持ち直しに足踏みがみられる。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しに足踏みがみられる。
- ・ 個人消費はこのところ持ち直しに足踏みがみられる。
- ・ 雇用情勢は感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等に持ち直しの動きもみられる。

(2) 中小企業景況調査（中小企業基盤整備機構編）

「近畿地域」：業況判断DI [前期比較]

①業種別業況判断DI



4. 全国の景況

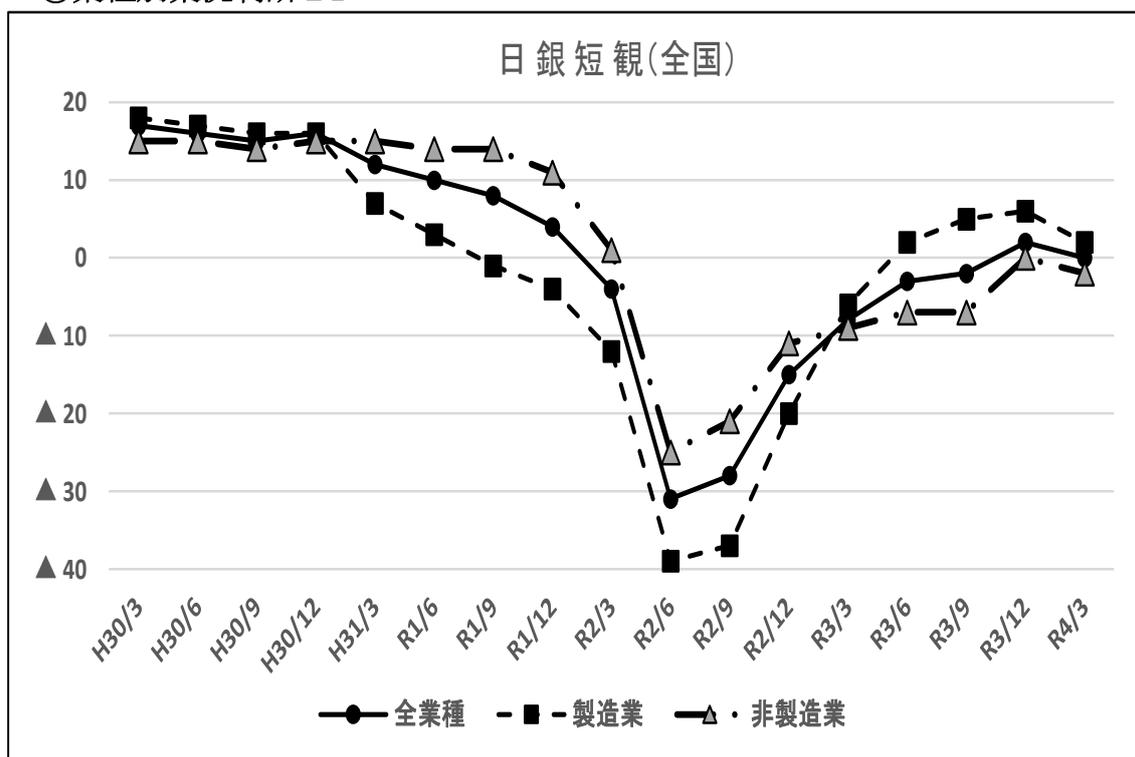
(1) 日銀短観（日本銀行）：業況判断 DI [前期比較]

①概況

- ・大企業製造業は、前回調査（2021年12月調査）から3ポイント悪化の14となった。資源価格の上昇や円安の進行が、国外からも部資材を調達する化学や紙・パルプなどの業種での景況感悪化につながった。さらに、国内でのオミクロン株流行を背景に再度減産を余儀なくされた自動車での悪化も大きかった。
- ・大企業非製造業は、前回調査から1ポイント悪化の9となった。オミクロン株流行に伴い、1月以降、多くの都道府県でまん延防止等重点措置が実施されたことで、対個人サービスや宿泊・飲食サービスなど対面型サービスを中心に悪化した。もっとも、回収基準日の3月11日の時点では、感染拡大はすでにピークアウトし、重点措置の全面解除が見込まれていたため、悪化幅は小さかった。

（三菱UFJリサーチ&コンサルティング「経済レポート」（2022年4月1日）より）

②業種別業況判断 DI



③設備投資計画（含む土地投資額）

2022年度の大企業設備投資計画は、製造業でやや高めからの、非製造業は例年とあまり変わらない水準からのスタートとなった。ウィズ/アフターコロナの経済活動への適応、デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進、環境規制への対応といった景気に左右されづらい投資に加え、老朽化した設備の更

新投資などを着実に進めていくものとみられ、景気を下支えすることが期待される（三菱UFJリサーチ&コンサルティング「経済レポート」（2022年4月1日）より）。

2022年度（計画）を投資内容別に見ると、土地投資額は消極的、ソフトウェア投資額および研究開発投資額はやや積極的な計画となっている。

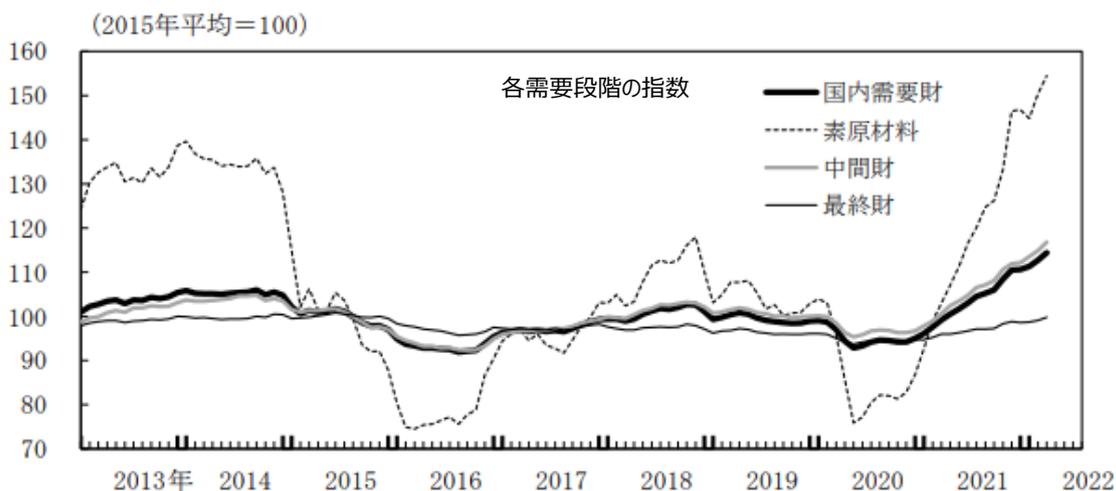
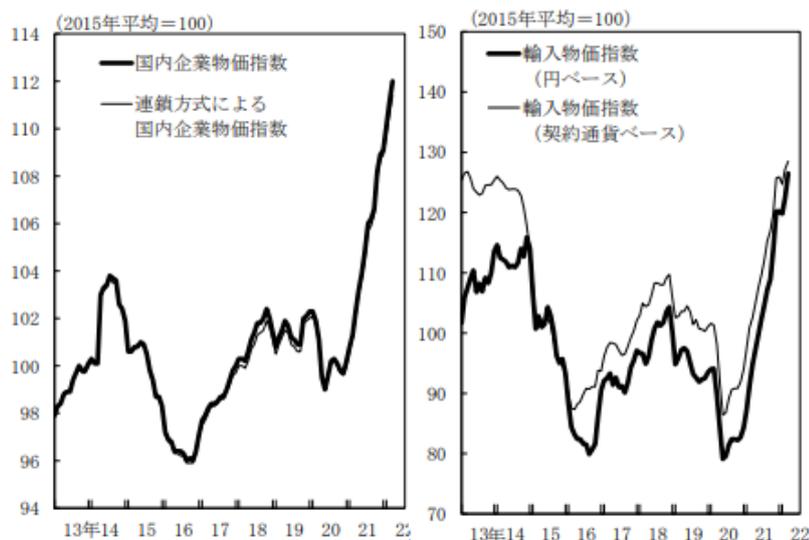
設備投資計画 (含む土地投資額)		2021年度 (計画)	2022年度(計画) 3月調査	ソフトウェア投資額		2021年度 (計画)	2022年度(計画) 3月調査
大企業	製造業	7.9	8.4	大企業	製造業	7.3	9.5
	非製造業	4.7	-1.6		大企業	非製造業	8.3
中小企業	製造業	7.0	-1.0	中小企業		製造業	32.4
	非製造業	3.0	-16.9		中小企業	非製造業	24.9

*含む土地投資額、除くソフトウェア投資額及び研究開発投資額

土地投資額		2021年度 (計画)	2022年度(計画) 3月調査	研究開発投資額		2021年度 (計画)	2022年度(計画) 3月調査
大企業	製造業	23.4	-29.4	大企業	製造業	5.1	2.3
	非製造業	-5.3	-15.0		大企業	非製造業	-0.1
中小企業	製造業	-0.8	-57.2	中小企業		製造業	2.2
	非製造業	15.9	-30.3		中小企業	非製造業	-1.7

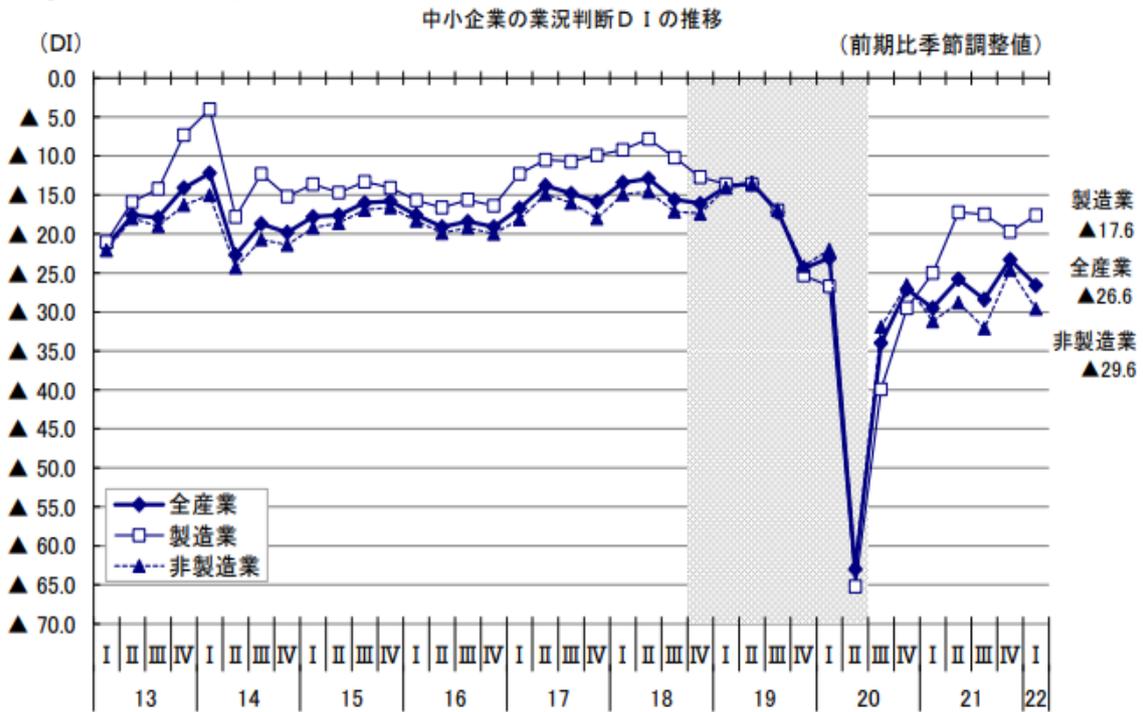
④企業物価指数（2022年3月速報）

3月の企業物価指数は9.5%でプラスは13カ月連続、指数の水準は1982年12月以来39年3カ月ぶりの高さ。原油等の原材料高と円安・ドル高による輸入物価の上昇が要因。伸び率は過去最高の2月(9.7%)に次ぐ2番目。



(2) 中小企業景況調査 (中小企業基盤整備機構編) 「全国」 [前期比較]

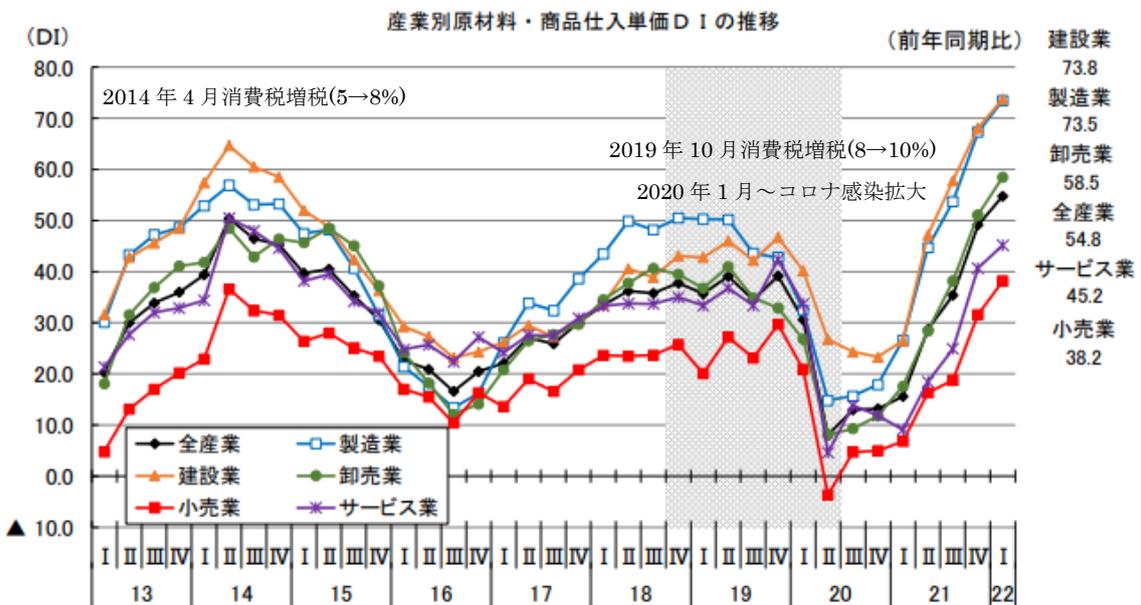
①業種別業況判断DI



(注) シャドー部分は景気後退期

②トピックス：原材料・商品仕入単価DIの長期推移

全産業の「原材料・商品仕入単価DI」は、前期より5.7ポイント増の54.8と2020年7-9月期以降、7期連続で上昇した。



注) グラフ中のコメントは筆者による

(中小企業診断士 川副 郷一郎)